

日本音韻論学会 2020 年度 春期研究発表会プログラム

2020 年 6 月 19 日(金)

オンライン開催

参加費無料

13:00-13:05 開会あいさつ 会長 田中伸一 (東京大学)

セッション 1 一般発表 司会：山根 典子(広島大学)

13:05-13:35 神谷祥之介・石橋頌仁・竹安大(福岡大学)

鹿児島方言における音節の時間制御：高年層と若年層の比較

休憩 5 分

13:40-14:10 Céleste Guillemot and Seunghun Lee (International Christian University)

Phonetic Variation of a Phonological Target: Voiceless Nasals in Drenjongke

休憩 10 分

セッション 2 一般発表 司会：竹安大(福岡大学)

14:20-14:50 Ikuyo Kaneko (Juntendo University) and Noriko Yamane (Hiroshima University)

Emotional Prosody of Condolence Letter Reading among English L1, L2 and TTS

休憩 5 分

14:55-15:25 Philip Head (Hiroshima Shudo University) and Noriko Yamane (Hiroshima University)

The Effect of Shadowing on Japanese EFL Speaking Ability and Phonological Awareness

休憩 10 分

15:35-16:25 会員総会

16:25-16:30 閉会あいさつ 副会長 時崎久夫 (札幌大学)

参加方法について

日本音韻論学会 2020 年度春期研究発表会は、新型コロナウイルス感染症対策のため Zoom を使ったオンライン開催といたします。プログラムの詳細は、変更される可能性があります。会員の皆様には、開催の 10 日前(6 月の下旬)までには、参加方法などの詳細を E メールもしくは郵送にてお伝えいたします。非会員の方で参加をご希望の方は、事前に春期研究発表会担当理事の本間猛まで、E メールにてお申し込みください。

本間猛 takeru.honma+phsj★gmail.com (★ をアットマークに置き換えて下さい。)